

日本GAP山形支部報

ユニバーサル
メッセージ

No. 12

日本GAP山形支部機関誌

ユニバーサルメッセージ 12

私に教えてくれる者達 本山恒明...1

最近感じたこと 仲間秀樹...2

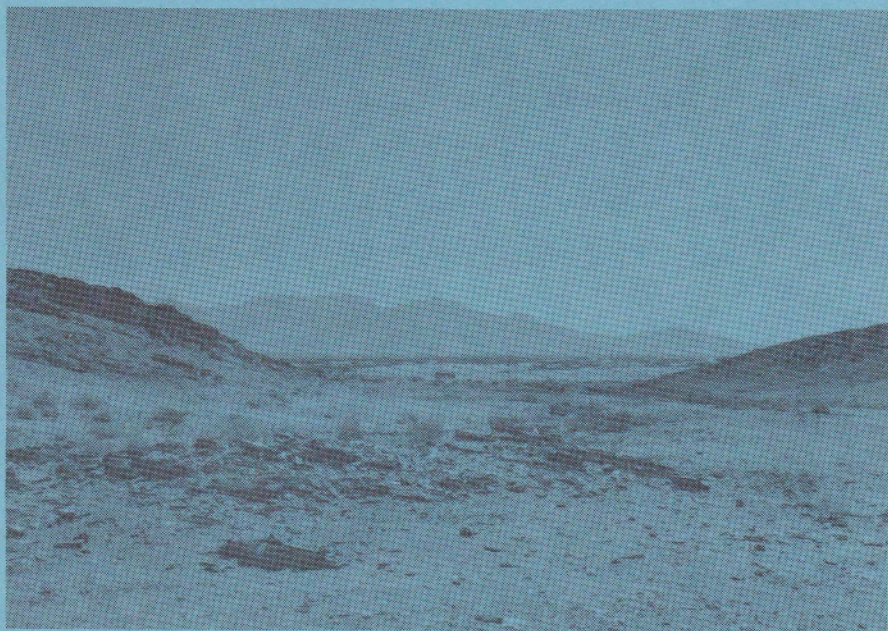
旅行より帰って思うこと 佐々木三羊子...4

アメリカからメキシコへ 清水正...6

あたより紹介...11

天元台ツアー...12

おしらせ、編集後記...13



テグートセンター・コンタクト地点から道路を見る。

1981年8月18日撮影

蜘蛛が今年の夏に我家にやたらと
 した。目的の様に飛んで来て、
 が、目的の様に飛んで来て、
 出ても行くのが困った。羽を休
 の一匹が困ったので、その中
 める場所を困ったので、その中
 私、顔にピタリと止まっています。
 このまま経験は私にとりまて
 の事ですが、経験は私にとりまて
 て、テレパシ、この事をすか
 忘れず、動かないでソツとして
 解らず、一杯のソツとして置
 歩く事、一杯のソツとして置
 止まると、杯のソツとして置
 り、まして、休息している。トボ
 が、仕事を終り、職場の遅
 ぐ、仕事に終り、職場の遅
 ぐ、仕事に終り、職場の遅
 り、まして、休息している。トボ
 が、仕事を終り、職場の遅
 ぐ、仕事に終り、職場の遅
 り、まして、休息している。トボ
 が、仕事を終り、職場の遅
 ぐ、仕事に終り、職場の遅

私に教えて くれる者達



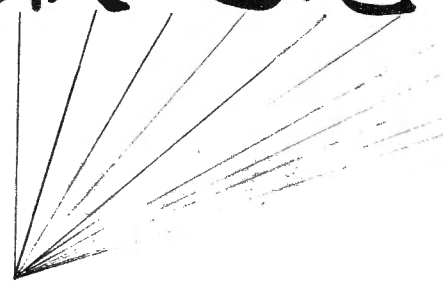
本山恒明

起こさなかつたので。それか
 うが、ばらに立ち塞がってマ
 ンガ、私の前を立ち塞がってマ
 こちうを振り返ると、風が吹
 ては後ろから黙々と吹いて来
 のり、後ろから黙々と吹いて来

な犬もいるものだ、不思議に思
 った。このうちに来いと声をかけ
 たら、たんに走りに来て、ま
 り、たんに走りに来て、ま
 じ、たんに走りに来て、ま

はしゃぐのです。しかも絶対
 従者の態度を解らず、テレパ
 味、力が痛烈に感じ、自分
 能、なさを痛烈に感じ、自分
 ら、なさを痛烈に感じ、自分
 つ、なさを痛烈に感じ、自分
 に、なさを痛烈に感じ、自分
 い、なさを痛烈に感じ、自分
 願、なさを痛烈に感じ、自分
 な、なさを痛烈に感じ、自分
 自、なさを痛烈に感じ、自分
 彼、なさを痛烈に感じ、自分
 と、なさを痛烈に感じ、自分
 之、なさを痛烈に感じ、自分
 論、なさを痛烈に感じ、自分
 理、なさを痛烈に感じ、自分
 し、なさを痛烈に感じ、自分
 持、なさを痛烈に感じ、自分
 が、なさを痛烈に感じ、自分
 中、なさを痛烈に感じ、自分
 馬、なさを痛烈に感じ、自分
 馬、なさを痛烈に感じ、自分
 馬、なさを痛烈に感じ、自分
 馬、なさを痛烈に感じ、自分
 馬、なさを痛烈に感じ、自分

最近感じたこと



仲間 秀樹

見渡す限りの山々が段々と秋の色を濃くし、大自
 然の活動の頃。山形支部のすば
 らしい景観は、頂上から大
 セージの葉を頂上から大
 いに勇気づけさせて、支
 清水さんを始め、支
 見習おうと、何となく思
 新に、次、何となく思
 ました。先般の仙山形合
 同支部大会の参加は、山
 なり、念願の大会に出席でき
 て、感謝しております。

このように、日本GAP東
 月例会や、各地方支部の
 参加し、何を心得ることが
 がよく考えた。その最近
 思いが、ますます。最近
 自分、どのようか。理由も
 何を求めようか。幸福を
 ほるといふのは、幸福を
 いると、このは、幸福を
 て、どうしようか。幸福を
 会員だ、これは、幸福を
 う、問題は、あり、幸福を
 つ、大きく違ふと思は、
 ると思ひます。それは、
 地球は、地球は、地球は、

外にも高度に発達した惑星があ
 り、そこに住んでいて、地球
 偉大な階段を、地球を、
 発展の段階を、地球を、
 が、地球を、地球を、
 方々、地球を、地球を、
 に、地球を、地球を、
 知識、地球を、地球を、
 さ、地球を、地球を、
 役、地球を、地球を、
 の、地球を、地球を、
 どの、地球を、地球を、
 こと、地球を、地球を、
 は、地球を、地球を、
 題、地球を、地球を、
 う、地球を、地球を、
 り、地球を、地球を、
 こと、地球を、地球を、
 的、地球を、地球を、
 分、地球を、地球を、
 は、地球を、地球を、
 い、地球を、地球を、
 安、地球を、地球を、
 体、地球を、地球を、
 見、地球を、地球を、
 の、地球を、地球を、
 も、地球を、地球を、

旅行より帰って 思うこと



海アメリカ・メキシコ・カリブ
のアメリカより帰って早一ヶ月
の旅行に参加させて
たままの旅行は今が始め
ですが、何の心配もなく安心

その日は、グラウンドキヤ
ニオンを見学しました。グラ
ドキヤニオンは、一千万年
およぶ浸食作用による美しい
されたスケールの大きな美しい

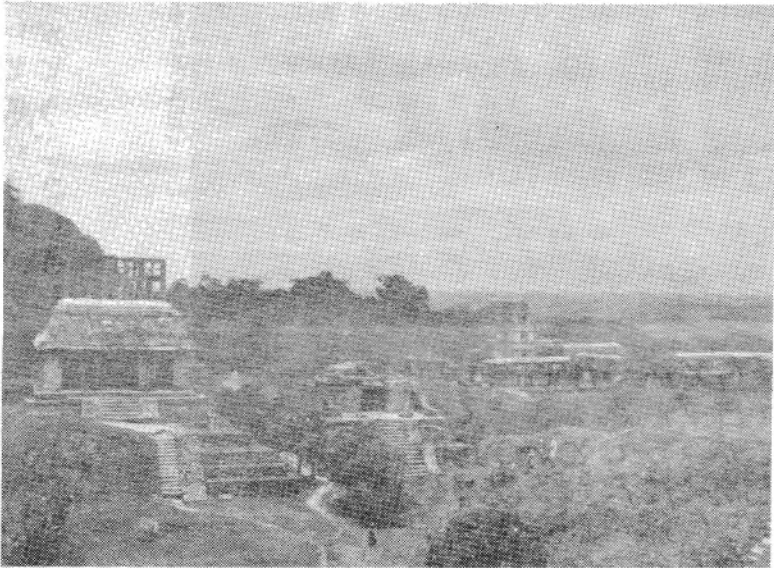
して皆様と共にゆったりと
した楽しい旅をする事が出
来ました。三日間は、私たち
の一番の目的であり、私たち
パロマ山のパロママーガ
テング、パロママーガ
見学、そして、ビスタの
A.P.財団を訪し、モハー
ビ砂漠のデグートセント
のコンタクト地点を視察
たしました。ビスタの町の
奥庭は、とても見くわけて
つまでもそこにとどま
いたい、気持ちよかったです。
夕食会場となり、隣
町のエスコンドロも
到着した。寒気の所々
ような所に住む事が出来た
ら散歩コースには、困らな
だうなどと考え、あまり
の周囲の美しさとうっとり
としてしまいました。

水たまりが、おあらかに
メキシコ人たちは、おあらかに
帰りの飛行機が二時間近く
滞りの飛行機が二時間近く
滞りの飛行機が二時間近く

大溪谷なのですが、私にはその
前の日のデザートセンタリの
象が、とても強すぎて、整い
ている感じのグラウンドキヤ
ンには、何か親しみを持って
ました。
二十日の日からは、太陽と情
熱の国、メキシコへ飛びまし
た。飛行機より出て始めて、
は、車ごとでも多くて、雑然
ていて、日本とも違って、
も違う何かせんぜん別な所へ
こしまったと言った感じが第
印象です。
タスコより帰る途中、ガイド
の山田さんがメキシコの歌の詩
を日本語に訳してくださいま
した。その内容にメキシコ人
マンチストだとしても、純真
人を愛するのだナアと感動
次第です。
それがとても親切で、たま
目が合ったりするとニコッと
って反応してくるのです。
滞りの飛行機が二時間近く
滞りの飛行機が二時間近く

全然雰囲気を換えずにまっただらなりました。日本では考えられない様子でこれが「メキシコな人の方と誤合い、うなぎを合いました。あまり物事にあくせくしない、おおらかなさ、その中でも遺跡では、それぞれの所が印象的でした。中でも先生の話さすには、パレンケの遺跡がマヤ古代文明の中で最も重要で汲動が良いと言う事です。そういいますと、テイオテイワカンウシユマル・チエンイツアの遺跡では、火の蛇のケツアルコアトルとか雨の神のトラロツクなどを象徴しているのです。全然見あたりなかつたです。それがだけ宗教化されていなかっただという事なのでしようか？大密林の中に静かに立つパレンケは荘重な雰囲気のただよう場所でありました。その後、エメラルドグリーン

(パレンケ)



は、時間と年令を忘れて皆様と楽しく愉快に遊びた。以上、旅行での経過を簡単に書か

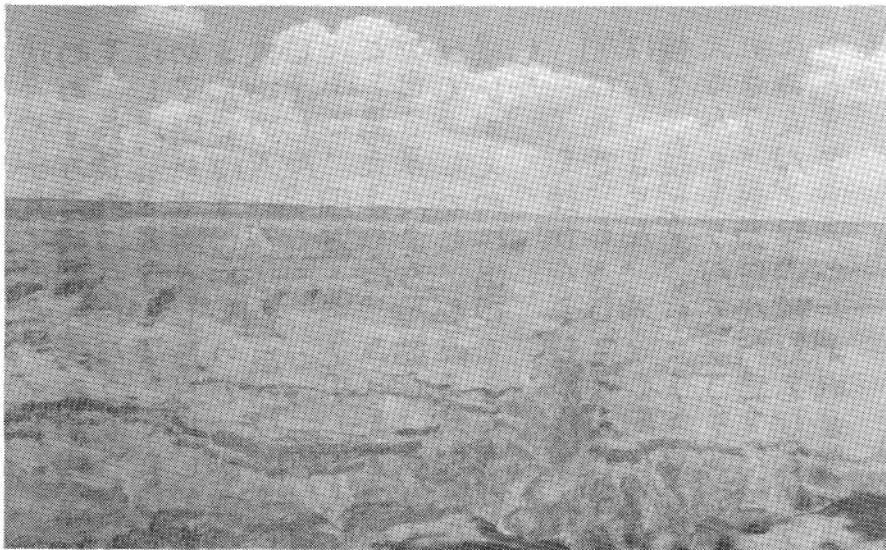
GAAP会員の皆様は、ほんとうにすばらしくてアドバイスだいた事や山や学ばせていただいた事も大きかったです。私も旅行でもありました。自分ごとでも素直な心で状態を旅する事が出来た。私が自然の美しさを感じた。知り、自然の美しい場所を接する。そして、楽しい想念を絶えず。考えていた。秋田に帰って来た。今、この高場を継ぎたい。ウツメにはどうして。そのために、た。旅行中と同じように。そのために、グを他の方も持つ事ではない。かと思ひます。私の両親、会社の友、周囲の人々に会いたい。に私が持った尊敬と学びたい。容易な事ではないと思ひます。容れざるは絶対に進歩です。実践できる方と見て、目で見る。あらゆる物を見る時、目で見る。

ク

深さ600mもの谷が全長460kmにも

もしれませんが。世界は広く、た
さんの人種がいろいろ。だけれど、ど
こが共通する心が感じられます。
根本的には同じようでもあり、解
れてみてホッとするとよいでした。
みんなが友人と感じられたり、
自然の雄大さに心打たれたりも
しました。国や人種が違っても
どこか一体感を持ってたと思いま
す。もちろん、こうして落ちつい
たおだやかな気持ちで旅行でき
ましたのも旅行社の田中さん、
団長として私たちを盛り上げて
くださった久保田先生、GAP
の皆さんの温かい気持ちがあっ
たからこそと思っております。
さて、旅行のすべてを紹介す
るにはとても長くなりそうです。
ので、旅行中でも印象的な日と
なりました。ロスアンゼルス
からグランドキャニオンへロス
アンゼルスへメキシコシティ
この間をお話ししましょう。

およぶ世界一の大峡谷です。そ
の大きさは想像をはるかに越え
たもので、実際に行ってみれば
ればわからなほど雄大なこと
うでした。
ヒルトンホテルにガイドの山
本さんが威勢よくやって来た。
「おはようございます。元気に
いさまして、元気に」そういい
ながら今日のグランドキャニ
オン行きに久保田先生が体調を
ずされて参加されないことに、
私たちを元気づけてくれている
ように感じました。
よう、飛行機は私たちの旅行団が
ようど束ねるほどの大きさで、
その小ささもある、目的地に
早く着くために気流の悪い所を
通りよくゆれました。しかし、
到着すると気分はさややかで、
爽快、これがアメリカだなあと
いう感想です。
バスで各ポイントをまわり谷
底を流れるコロラド川を見おろ
したり、遠くの台地を眺めたり
しました。吹く風がこころよく
やさしく過ぎていきます。ここ
は、20億年の地層がおりかさな



り、私り立っている所は海拔200
mあります。谷底へ下るラバの
列が豆つぶのように見えました。

グランドキャニオン



グランドキャニオン楽しい仲間と記念撮影

グランドキャニオンの雄大な
清浄な空気が、日焼リッアリのた
めわずかの時間の滞在が残念で
す。最後のほうになって、岩の
はしに腰をおろして、心をしず
めて眺めてみました。押しよせ
る印象はすごいもので、地球、
大地のたいなる創造パワーを感
じました。

ふと、円盤、ブラガーズのこ
とを考えました。これまで円盤
が出て来たような話はありません
せん、しかし、私たちが忘れた
頃ひがえぬに出現すると思いま
した。

とても短かくても印象深い時
間は過ぎ、もうロスへもどらね
ばなりません。帰日も同じ飛行
機で、親切で美しいスチューワー
スさんも変わりなくつきそって
くれます。最後に飛行機をバック
にみんなで記念撮影をしてグラ
ンドキャニオンに別れを告げま
した。

夕食はリトルトウキョウにあ
ります。ジャパニーズプラーグで
やりました。私はたぬさうどん
と天丼をたべておなかが一杯です。

日本料理はやほりおいしい！
 とところで私たちの泊るヒルトンホテルにタクシードで帰るといふこと何人かに別れて行くことになりました。しかし、慣れないのど、町の治安が悪いことも聞いていましたから、タクシード乗り場のホテルニューオータニへ行くのがとまどって恐怖して歩いていくのに気づきました。このことでしっかりしなくてはと言いつつ聞かせながらタクシードを拾うと、どこか安心感がでてきたのと、その緊張がづづいていくのを感じました。こんな雰囲気いもアメリカなんだろうかと思いましました。

ロスアンゼルス之夜、ビジネス街といつていいのでしようか、ホテルの窓からはフリウエイが見えます。高いビルディング群の一角に私たちの泊ったヒルトンホテルがあります。

ベッドに体を横たえて聞く所放送、静かに流れてくるムードあふれるコーラス、恋する人の歌なのでしょう。好きな素敵な晩でしよう。好きな局を選んで

で聞くと同じ雰囲気の曲が、ずっと聞けます。黙って目をとじていると言葉が表現できないようなロマニチックな楽しい気持ちになりました。

この日は一時ロスから離れてメキシコへ向います。これが一週間のメキシコ滞在の心がどるようです。いつもそうだったけど、さゆやかなフイリングがいつもになく強い気がします。ガイドの山本さん、ロスでお別れする石川さんに見送られ飛行機に乗り込みました。

ロス空港はラッシュで午前9時離陸予定が25分おくれでしましました。各飛行機は分まざみのフライトで、次から次へと飛び立ち、後には順番を待つ列ができています。その様子は壮観でした。

ロスの町はかすみかすもツクだと思えます。それらがたれこめていて遠くの山の中腹を境にして上はすつきり美しい山並みが見えています。海岸線に沿って機首は南へ向いました。

円盤は出現しないかと窓ぎわに座って見ます。松山の伊藤さんと見えています。軽い飛行機がよく見られます。たいていが太陽の光を反射して銀色に輝いてみえます。双眼鏡でしばらく観察して、もう見あきらむるううと思つた頃でした。後ろの座席に座つています。久保田先生と田中さんが、空に光るものを何かはなしあつています。私も見ました。ちようど私たちの飛行機と同じ高度のようど、形は情内形のようにもありません。はっさりわかりません。伊藤さんは円盤と確認したようど思いました。かく写真に撮ろうと思つた。望遠に交換して一枚撮りました。久保田先生が「消えた」と言います。たぶん写真に撮った消えたが一致していません。なんだか不思議な気持ちになります。さました。もし円盤ならテレパシツクは知的操作を感じますし、私たちにはなにかの度心よせていると言ふことごす。(残念ながら写真には何も写っていません)

飛行機はグアタハラを経由してメキシコシティーへ到着しました。人口1400万人、海抜2241mの盆地に広がる大都市ですが、口スガラの延長で来た雰囲気とはだいぶかけ離れた感じを受けました。初めはめませんでした。この人々の親切さは、明るさにとってもいい印象へと変わってゆきました。今の季節は不順で、夕方にはスコールのような雨が降ってきそうだったのであります。

私たちの泊ったホテルはファイスタラス（お祭り宮殿）といいますが、美しく着がざった人々が祭りパーティーのある所でした。

このあとの日程も無事、有意義に過ぎてゆきました。遺跡群の大きさに目を見はり、アメリカにもどってからのディスプレイラントは素晴しかったです。あれほどの創造性が日本にあるだろうかと思いました。

皆さんの調和と各地でお世話いただいた人たちに感謝いたします。

555555 555555 555555 555555 555555 555555 555555



(デイズニーランドにおける夜の光のパレード)
 かろやかで音楽にのって、ドナルドダック、白雪姫と七人の小人、ミッキーマウスなど有名な出しものがいっぱい！ここはおとぎの国。本当に楽しい。フィニアフに溢れたところでした。

おたより ロサンゼルス在住 山本博

元気です。GAPの皆さんがロスに来て帰国してから早2ヶ月経ちました。本当に時が経つのは早いものです。久保田先生から、先月の下旬に旅行中いっしょに買った写真を送って頂き、毎日の様に、今年のツアーの中で僕にとってはハイライトのツアーだったなあと、思いながら見えています。

最後のバスの中で皆さんに、「こんな目的が確かどしかりしているツアーは初めてです」と話しとさせましたが、真実そういう風に感じています。他に皆さん全体がなかなか統一がとれていて僕にとっては良いツアーであり、最高の経験でした。GAPのオ一人づつお礼を言いたい気持ちです。

来年も是非何らかの形でロスに立寄って頂きたいものです。本当に楽しみにしています。I AM HOPING THAT THE SAME KIND OF OPPORTUNITY WILL COME TO ME SOON AGAIN.

GAPの皆さんの気持ちの中には、UFOの目撃より、アダムスキーの真理の追求(他にどうゆう表現を使ってもいいが解らない?)が主目的という印象を受けました。宗教という媒介ではなく、自主的になものから生れた追求が、GAPの皆さんに通じるところがあるので、今回のツアーも同じく成功したのだと思います。

時間があればVISTAの町でアフリカのGAPの会合に参加したいと考えています。何か僕の中の重量になる物を得られそうな気がします。

そちらの方は、もうじき雪が降る季節になるとは思いますが、再度、お便り下さい。筆不精ですが、何とか努力します。



グランドキャニオン空港でガイドの山本氏

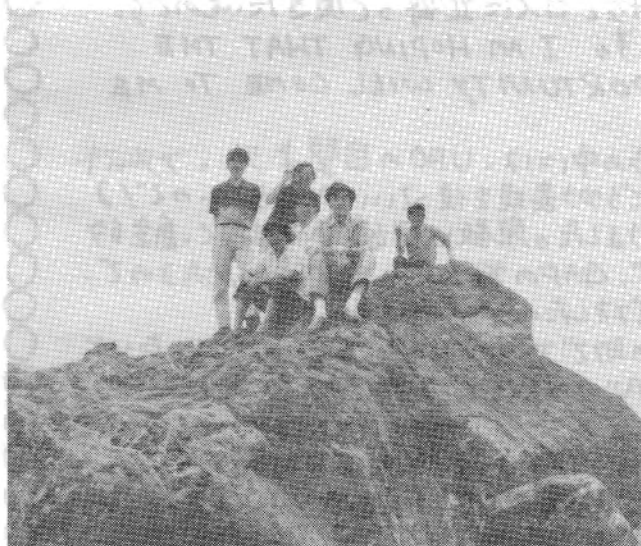
天元台ツアー

7月18・19日の両日にわたり、昨年(1977)に続いて米沢市郊外にある香妻山、天元台にて「天元台ツアー」が行われました。18日正午過ぎ、東京より遠路はるばる来ていた、松本さん、そのすぐ後には仙台から来た、石田さん、柳村さんらを米沢駅にて清水さんと共に迎へ、さつそく一路目的地へと向かいました。

快晴とは言えないながら、初夏の柔かい陽光の中を、約一時間快道でドライブを続けて、白布温泉に到着。ここで軽い昼食をとった後、今夜の宿泊地である「山大セミナーハウス」のある天元台迄はロープウェイを利用し、深い緑を眼下に望む約20分間の空中歩行を楽しみました。

この天元台には、香妻連峰の各登山コースに向かう登山者の為のヤンション、ロッヂなどの宿

泊施設の他、テニスコートなどのレクリエーション施設が設けられ、周囲をすばらしい環境と包まれています。



セミナーハウスに投宿後、顔馴染みの方々と共に、さつそく6月7日札幌で開催された札幌旭川支部大会に出席する久保田会長の講演テープを聞きました。途中、仕事の都合で遅れた上山市の本山さんに加え、計六名の参加者により、アットホームな雰囲気の中で予定が迷われず、19日はどうやら天気も快復し晴れ向も見え、中、人形石迄の登山へと出発。3本のリフトを乗りついで後約4kmの周回コースを回り、普賢段運動不足がみの体には幾分難がさする場所もありましたが、途中、山の澄みきった空気の中心で、ひっそりと咲く数々の高山植物に出会う度、その美しさに疲れも忘れて見とれてしまう程でした。

今回も、昨年と同じく小人数で参加者となりましたが、それだけにお互いにリラックスした気持ちで語り合うことができたと思います。御仕事を忙しい中、遠路より足を運び頂いた松本さんはじめ、石田さん、柳村さんに深く御礼申し上げます。(中田和一記)

日本GAP

山形支部月例研究会

● 毎月第一日曜日午後1:00～5:00

※ 来年1981年一月のみは第二日曜日

● 山形市福祉文化センター

● 会費 200円

● プログラム

・東京月例会における「宇田哲也」講演
・テラパシー練習・座談会

・研究発表・読書会

● 持参品 生命の科学

テラパシー

本誌バックナンバー

8.9.10.11号と残部
あります。
ご希望の方は
一部100円と送料140円
分を切り代用がま留で
お申し込みください。

〒992 山形県米沢市松が山2-4-31
清水 正

編集後記

○ 山形では12月下旬の様な寒さで、初雪となりました。いよいよ冬到来といった感じにさせますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。ここにようやくは号発行となりました。今回は米沢秋田宇田考古学堂の旅の模様を中心に内容となりました。なんとこのころの旅が一語に行動を共にされた方々の調剤と親交は宇田的実践のあかしとして私には温かく残りました。

○ 飛行機からのUFOは、私にとっては、ただの目撃以上の驚きを感じております。それは、突然の消滅という動きからいろいろ感じるものでした。

○ 天元台ツアーでは大自然の中、高山植物などをながめながら山頂に登山し、きれいな空気をいっすいふんでの有意義な旅になりました。場でありました。不思議とみんなの日はカガミなりました。また機会があることにしよう。一泊の集りに南催したいと思っております。その時は多数ご参加下さい。

○ 9月14の西日、GAP秋田の例会に参加してまいりました。地元からは秋田からはこう人に福島の仲間、仙石の石田設計名で、山形、秋田の鳥海山のみもとにありまう。豊澤町にお住いの佐々木ミキさん宅で開かれました。とても熱心な

話し合っやテラパシー練習がなかなかおもしろい。次の鳥海山登山もまた素晴らしい自然の中で、楽しいひとときを過ごしました。これから秋田の方を皆で応援いたします。

○ 動物たちは創造の意思に自分をまかせていって思われます。ですからその創造の調剤にしようのしょう。それも人間は見下したり、ごまんになったりすること自体、もはや創造主の有り様として自らを見下していることにはならぬでしょう。同じパワーマシで各自が持つ特性があります。人間はその中で、最も素晴らしい可能性をもった存在だと思えます。そのためにも、動物も植物も不物すべてが協力しあうのはいいのではないのでしょうか。

○ 本山さん、仲間さんには史生海でのすてきな旅を寄せていただきました。その他の皆々各地GAP会員の力をあわせて、これからも頑張ります。

○ これから投稿、おたよりお待ちしています。

日本GAP山形支部機関誌

ユニバーサルメッセジ12

編集発行人 清水 正

発行所 日本GAP山形支部

〒992 山形県米沢市松が山2-4-31

1981 1/10 頒価1000円・送料140円